

第1回北区立中学校部活動地域連携検討会議
会議録

日 時：令和5年6月27日（木）午後6時30分～午後7時49分
場 所：北とぴあ 902会議室

開会

1. 委員紹介
2. 会長・副会長の選任
3. 検討会議の運営について
4. 推進計画の策定について
 - (1) 国・都の動向
 - (2) 北区の現状
5. 令和6年度のスケジュールについて
6. アンケート内容の確認について
7. その他報告事項

閉会

<配付資料>

- 資料1 北区立中学校部活動地域連携検討会議設置要綱
- 資料2 北区立中学校部活動地域連携検討会議 委員名簿
- 資料3 北区立中学校部活動地域連携検討会議議事録の取り扱いについて（案）
- 資料4 都資料「学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画」の改定について
- 資料5 東京都北区中学校部活動の地域連携の推進
- 参考資料 北区の部活動の現状（詳細）
- 資料6 令和6年度中学校部活動地域連携検討会議スケジュール（案）
- 資料7 中学校部活動地域連携に伴うアンケート（案）

出席者 東京藝術大学演奏藝術センター准教授
東洋大学健康スポーツ科学部スポーツ科学科講師
中学校長会代表（稲付中）
中学校体育協会理事長（飛鳥中）
東京都北区体育協会専務理事
スポーツ推進委員王子地区会長
北区文化振興財団事務局長
北区立中学校PTA連合会会長
東京ヴェルディ株式会社女子事業推進部ディレクター
城北信用金庫コミュニケーション開発事業部次長
／東京城北アスリートクラブ
Palette Works LLC代表

事務局 教育振興部長
教育振興部参事【検討会議運営・計画策定担当】
学校支援課長【部活動指導補助員担当】
生涯学習・学校地域連携課長【地域主体の部活動担当】
教育指導課長【学校主体の部活動担当】
（他、事務局担当者）

質疑応答

○事務局

それでは定刻となりましたので、会議を始めさせていただきます。

私は本検討会議の事務局を務めさせていただきます、教育振興部長でございます。本日は初めての検討会議でございますので、後ほど皆様方に会長を選任いただくまで、私のほうで進行を担当させていただきたいと存じます。どうぞよろしく願いいたします。

まず、開会に当たりまして、皆様にご挨拶をさせていただければと思います。

改めまして、本日はご多忙の折、北区立中学校部活動地域連携会議にご出席をいただきまして、誠にありがとうございます。

皆さん、ご承知の方もおられるかと思いますがけれども、東京都においては部活動の地域連携・地域移行については、来年度末までに都内全ての公立中学校等で、地域や学校の実情に応じ、地域連携・地域移行が行われていくということを目指すとともに、休日に教員が部活動の指導に携わる必要がない環境の構築を、段階的かつ可能な限り早期に実現していくとして、推進計画を定めてございます。

北区におきましても、昨年度末に策定した北区基本計画、中期計画や、教育委員会が取りまとめた北区教育ビジョン2024でも、中学校部活動の地域連携の推進を計画事業として位置づけて、導入に向けた検討を進めることとしたものでございます。

皆様方には、本会議において、北区立中学校の部活動における地域連携の在り方について、それぞれのお立場から忌憚のないご意見をいただき、方向性を定めていただければと考えてございます。

部活動は中学校生徒の健やかな育ちを育てていく重要な要素の一つと考えており、生徒たち本人も、またその保護者も、教員も部活動に対しては強い思い、考えを持っております。教育委員会といたしましては、子どもたちの思いを受け止めながら、事業を展開していくに当たり、安定的に運営できる体制、またしっかりとした受け皿、またこれらについて透明性を確保しながら整備をしていく必要があると考えてございます。委員の皆様方の知見をいただければ幸いです。どうぞよろしく願いいたします。

簡単でございますが、挨拶とさせていただきます。

それでは以後、恐れ入りますけれども、着座にて進めさせていただきたいと思いません。

まず、配付資料の確認です。事務局、お願いいたします。

○事務局

本会議の運営を担当いたします、教育政策課長でございます。どうぞよろしく願いいたします。

恐れ入りますが、着座にて説明させていただきます。よろしく願いいたします。

それでは、まず本日の配付資料でございます。

次第の下の四角枠に記載のとおり、資料1から7までと参考資料を配付してござい

ます。会議を進めてまいります途中、書類の不備、不具合等ございましたら、ご用意させていただきますので、お気づきの際、お知らせくださいますようお願いいたします。

それから、委嘱状でございます。皆様にご就任いただくに当たりまして、本来であれば、皆様お一人ずつ交付させていただくべきところでございますが、大変恐れ入ります。本日席上に配付をさせていただきました。恐れ入りますが、ご確認いただければと存じます。よろしくお願いいたします。

○事務局

それでは、次第に沿って進めさせていただければと存じます。

初めに1. 委員紹介です。事務局お願いします。

○事務局

それでは、本日第1回の会議でございますので、委員の皆様を紹介してまいります。資料の2をご参照いただければと存じます。

本検討会議委員名簿を配付してございます。名簿順にご紹介をいたします。恐れ入りますが、お名前の呼び違い等ございました際にはご容赦いただけますと幸いです。

(各委員紹介)

○事務局

ありがとうございました。

続きまして、区側の職員についてご紹介させていただきます。

(事務局紹介)

○事務局

以上の体制で進めさせていただければと考えてございます。どうぞよろしくお願いいたします。

それでは、次第を進めさせていただきます。

次に議題の2、会長・副会長の選任に入らせていただきます。

まず、会長の選任を議題とします。資料1をお願いいたします。

北区立中学校部活動地域連携検討会議設置要綱第5条により、会長は委員の互選ということになっておりますが、いかがでございましょうか。委員の皆様からご意見ございますでしょうか。

特にご意見がないようでしたら、事務局からご提案をさせていただきたいと存じますが、よろしいでしょうか。

(異議なし)

○事務局

それでは、事務局から提案させていただきます。

(会長の選任)

○事務局

それでは、これからの進行につきましては、会長にお願いをいたします。どうぞよろしく申し上げます。

○会長

改めまして、よろしくお願いいいたします。

それでは、続きまして副会長の選任について、議題といたします。副会長の選任方法については事務局から説明をお願いいいたします。

○事務局

事務局です。副会長の選任につきましては、北区立中学校部活動地域連携検討会議設置要綱第5条により、会長からご指名いただくこととなっております。会長にご指名をお願いいいたします。

○会長

それでは私から指名いたします。

(副会長の指名)

○会長

ご異議ありませんので、副会長を決定いたします。

それでは、議事を進めてまいります。

次第の3、検討会議の運営についてです。

まず資料1の北区立中学校部活動地域連携検討会議設置要綱について、ご確認をお願いいいたします。事務局のほうから説明をお願いいいたします。

○事務局

今、お開きいただいております資料1に沿って、ご説明させていただきます。

まず、表面のところについてなのですが、これは今ご説明させていただいたとおり、組織について幾つか記載させていただいているところです。

今、副会長のほうをご指名いただきましたので、副会長からも一言いただいてもよろしいでしょうか。

○副会長

一生懸命やりますので、ぜひ皆さんご協力いただければと思います。よろしくお願いします。

○事務局

ありがとうございました。そうしましたら、今後の運営の進め方について、設置要綱の裏面に進んでいただければと思います。

裏面上部のところに、会議の運営について記載させていただいております。第6条についてご説明させていただきます。

こちらの検討会議は、会長が招集するものとさせていただいております。

続いて、2です。検討会議は、委員の過半数の出席がなければ、会議を開くことができません。

3、検討会議の議事は、出席した委員の過半数をもって決し、可否同数のときは会長の決するところによります。

4、前項の場合においては、会長は委員として議決に加わる権利を有しません。

5、会長は、必要に応じて関係者の出席を求め、意見を聴くことができます。

6、委員は、委員が指名する者を代理で会議に出席させることができます。

7、検討会議は原則公開としております。ただし、会長が認めた場合は非公開とすることができます。

以上、会議の運営です。続いて第8条の委任のところをご覧ください。第8条、この要綱に定めるもののほか、検討会議の運営に必要な事項は会長が定めるとしております。

以上のような形で、こちらの会議運営させていただければと思っております。以上です。

○会長

ご質疑ございますでしょうか。

(なし)

○会長

それでは、検討会議の設置要綱についてご確認いただきました。

次に、本検討会議の議事録の取り扱いについてお諮りいたします。

○事務局

資料を進んでいただきまして、右に資料3と書かれている資料をお出しいただければと思います。

では、議事録の取り扱いについて（案）です。先ほどの要綱にあったとおり、こちらの会議は原則公開となっております。毎回議事録を作成いたしまして公開させていただくこととなっております。

順にご説明いたします。

まず、1番です。議事録の原案は、こちらできましたらメールにて皆様へ送付させていただきます。こちら、原案のものには委員名を記載させていただいております。

続いて、2です。こちらの原案について何か誤り等がございましたら、到着後1週間以内に事務局までお知らせいただければと思います。

続いて、3です。こちら、皆様からいただきました意見を基に修正したものを、会長において最終的に確認いただいた後に、議事録とさせていただきます。

続いて、4です。議事録の公開用のものは委員名を伏せたものとさせていただきます。皆様のお名前の伏せた状態で、会長や副会長、委員というような名前を使わせていただこうと思っております。

続いて、5です。議事録は教育政策課に備え置くとともに、区のホームページでも公開させていただくこととなります。こちらは名前を伏せたもので公開させていただきます。

最後6です。こちらの議事録の公開までは、会議終了後からおおむね1か月を目安として公開させていただくことになっております。

以上になります。

○会長

ありがとうございます。

では、ご質問、ご意見ありましたらお願いいたします。

(なし)

○会長

議事録の取り扱いにつきましては、この案のとおりでよろしいでしょうか。

(異議なし)

○会長

では、議事録の取り扱いにつきましては、資料3のとおりとさせていただきます。

次に、次第の4、推進計画の策定について、事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

それでは、今度は推進計画の策定につきまして、国や都の動向や北区の現状について説明させていただきます。

まず、資料4と書かれているものをお出しいただければと思います。

資料4の学校部活動の地域連携・地域移行に関する推進計画の改訂と書かれているものです。こちらは東京都が出した推進計画の概要版になります。

東京都としては国のガイドラインに沿って推進計画を示しておりまして、こちらで目指すべき方向性等について、説明させていただければと思っております。

まず、表面の推進目標と書かれているところをご覧くださいと思います。

令和7年度末までに、都内全ての公立中学校等で地域や学校の実態に応じ、地域連携・地域移行に向けた取組が行われることを目指すとともに、休日に教員が部活動の指導に携わる必要のない環境の構築を、段階的かつ可能な限り早期に実現していくというような形で、東京都としては令和7年度までを改革推進期間として、こちらの目標を達成するために動いていくところになります。

裏面に進んでいただきまして、東京都が目指す目標に向けて、市区町村はどうしていくのかというところを、下段のほうの6番に記載されています。市区町村で行うこととしては大きく三つございます。

まず1点目は、本日の検討会が該当しますが、地域連携・地域移行に向けた協議会等の開催になります。

続いて、二つ目です。今年度中に方針及び計画等を策定することです。こちらの検討会議の中で、この計画を作成するというところが、今年度の最終目標になっております。

続いて、3点目です。次年度以降のお話になりますが、策定した計画に基づいて地域連携・地域移行の推進を進めてまいります。こちらは東京都が示しているものになります。

こちらを踏まえまして今後北区がどう動いていくのかというのを、資料5と書かれているものでご説明させていただきます。

表紙を1ページめくっていただきまして、国や都のほうで部活動の改革を進めていくというところで、まず背景となっているところからご説明させていただきます。

少子化が進む中で、今の学校部活動が今までと同様な体制で運営することが難しくなっているということと、教員への負担が大きいこと、特に休日の大会等の引率や運営については、特にこれは教員の方の負担がさらに大きくなっていることもございまして、今後は持続可能な部活動環境の整備が必要になってくるということが、今回解決しなければならない課題となっております。

では、この持続可能な部活動環境というのがどんなものかといいますと、次のページに進んでいただきまして、大きく分けて二つのパターンでこの環境を整備していきます。

まず、左側の地域連携とは、ということなんです。こちらは学校が主体となる部活動の環境整備になります。ここに記載をされていますが、今まで教員が教えていた部活動を部活動指導員や、北区では部活動指導補助員と言われる外部指導者の方を導入いたしまして、その方に教えていただくという方法、と、複数の学校で合同部活動を実施するという形で、環境を整えることが地域連携となっております。現在、北区のほうでは、そちらの部活動指導員と部活動指導補助員を導入しておりまして、合同部活動については公に進めているものではないところになります。

続いて、右側の地域移行とは、ということなんです。こちらは先ほど、学校が主体だった地域連携に対して、地域が主体となっております。地域の多様な団体の方が学校と連携をしながら、部活動運営や実施を担っていただきます。こちらについて、北区は未導入となっております。今後検討を重ねていきます。

次のページにお進みいただきます。北区の中でどういう目的を持って今後進めていくかというところで、大きく二つの柱を持って北区は進めていく予定です。

まず、教員の部活動への負担軽減というところと、生徒のニーズに合った活動機会を確保するという二つの目標を持って、今後は既存の部活動指導員や活動指導補助員の方をより拡充することと、今まで入っていなかった地域クラブ活動を導入していくという方向で課題を解決していこうと思っております。

北区の状況は、次のページの4、北区の現状をご覧くださいと思います。

北区には先ほどちょっとお話をしました、活動指導員と部活動指導補助員を現在配置しておりまして、活動指導員は非常勤職員という形で北区で雇用している方になります。こちらの方々は単独で指導や大会引率等も担える方になっておりまして、全12校の中にただいま9校配置済みです。4月1日現在ではスポーツの方のみですが、11人配置されている状況です。

それに対しまして、部活動指導補助員の方は、こちら有償ボランティアになっておりまして、単独で大会引率等を行えないのですが、顧問教員の指導の方針の下で技術指導等を行うことができます。

こちらは5月の時点の状況ですが、全ての学校に配置がされておりまして、スポーツが45人分、文化が56人の計101人が配置されておりまして、

どの種目に配置されているか等の詳細については、その後の参考資料にも記載されておりますので、後ほどご覧くださいと思います。

続きまして、今後の北区の令和10年度までのスケジュール（案）について、お示しております。

協議会の設置・運営、推進計画の策定は、この会議で行います。部活指導員や補助員の方や、地域クラブ活動の今後の方向性について、こちら北区で作成しております中期計画や教育ビジョンに沿って記載させていただいております。こちらの数字については今後も検討を重ねていく段階で、変わっていくところや運営の仕方を検討していこうかと思っているところになります。

国や都、北区の状況については以上になります。

○会長

ありがとうございました。

それでは、ただいまの説明につきまして、ご指摘、ご意見ございましたらお願いいたします。

(なし)

○会長

続きまして、次第の5、令和6年度スケジュールについてです。これも事務局からご説明お願いいたします。

○事務局

それでは私のほうから、令和6年度の検討会のスケジュールについてご説明いたします。資料の6をご覧ください。

令和6年度は表のとおり進める予定となっております。検討会議は4回行う予定で、第1回となる今回の検討会議では、残りのお時間で7月末にかけて行うアンケート内容の確認を中心に議論を行ってまいります。詳細につきましては、後ほどご説明いたします。

8月開催予定の第2回検討会議では、アンケート結果の報告をさせていただきます。この結果を踏まえ、どのような部分に課題があるのか、児童・生徒、保護者、教員が何を必要としているのか、それぞれの部活動に対する捉え方を整理します。その後、計画策定に向けた基本的な方向性を決定していく予定です。

10月開催予定の第3回検討会議では、推進計画の案をお示しする予定です。案を基に、ご意見をお伺いできればと思います。

2月から3月にかけて開催予定の第4回検討会議では、推進計画を策定、決定し、モデル実施校の確定を行います。モデル実施する種目についても、検討会議の中で決定できればと考えております。

以上となります。

○会長

ありがとうございます。

それでは、ご質疑、ご意見ありましたらお願いいたします。

(なし)

○会長

それでは次の議題に進ませていただきます。

続きまして、次第の6、アンケート内容の確認についてです。こちら事務局から説明をお願いいたします。

○事務局

資料右肩に資料7と書いてあるホッチキスどめの資料をご用意ください。この資料7のとおり、対象者ごとにアンケート項目を分けて調査をかける予定でございます。

アンケートは対象者といたしましては、区立の小学6年生の児童とその保護者、また区立中学校の生徒、教員、そして保護者それぞれに採ってまいりたいと考えております。

実施方法につきましては、回答率向上のために、紙のアンケートではなくてWEB形式、Googleフォームを使って、こちらについて回答をそれぞれご依頼することを考えております。このGoogleフォームで作るWEBサイトへのアンケートフォームへの周知につきましては、児童・生徒に向けては、アンケートにアクセスできる二次元コードを印字いたしましたプリントを、事務局のほうで印刷をしまして、

各学校のほうで配布をお願いしたいと考えているところでございます。

教員の皆様につきましては、校務支援システムなどWEB形式で回答を依頼することを考えております。保護者の方は一斉メール機能で、保護者の方のメールアドレスに届く機能を使いまして、事務局から送付をしたいと考えております。

実施期間につきましては、本日の検討内容、これからの検討内容を踏まえまして、事務局のほうで整理をさせていただいた後、1か月程度期間を設けて実施を想定しております。今の現段階では、7月末日までという期限でやってはどうかというふうに考えておるところでございます。

続きまして、資料7にある質問項目、設問の項目についてでございます。こちらについては東京都や、ほかの自治体のアンケートを参考に、学校での部活動の維持、そして新たな地域主体の部活動の可能性という視点から、10問前後ということで案を作成したところでございます。

児童・生徒向けの項目の狙いとしましては、現状の部活のほかにもどのような選択肢を求めているか。学校の外の生徒との交流や外部指導員の方からの指導にも興味があるかということですか、休日部活動の地域連携に向けた学校や男女ごとのニーズ、こういったものをつかみたいという趣旨で、こちらの項目を案として設定させていただきました。

教員向けのアンケートの項目の狙いとしましては、現状の部活動に感じている負担感ですか、兼業・兼職をしたいという教員の皆様がどれぐらいいらっしゃるかというところの視点から項目を設けております。

保護者の方への項目につきましては、外部からの指導、こういったニーズがあるのかということですか、外部といっても学校の外の部活動というのは少し心配があるのかなというところ、そして大切なところで費用感、こういったところをつかみたいということで、こちらのアンケート項目を設定させていただきました。詳細な項目は記載のとおりでございます。

説明は以上でございます。

○会長

アンケートの内容につきまして、ご質問、ご意見ありましたら、ぜひよろしくお願ひいたします。

どうぞお願いします。

○委員

ちょっともう一度、設計について教えてください。ごめんなさい。

まず対象は小6で、あと中学生これは悉皆調査ですか。

○事務局

はい。全員に対する調査かというご質問かと思ひまして、小学校6年生と中学生全員に対してです。

○委員

これは区立のことでよろしいですか。

○事務局

さようございます。

○委員

あと、保護者と先生については、対象は悉皆になるんですか。

○事務局

はい。皆様に周知をかけますので、小6以上の保護者と中学校教員の悉皆の形になります。

○委員

ありがとうございます。

○会長

ありがとうございます。ほかにもございますでしょうか。

ちょっと私も質問なんですけど、これはGoogleフォームというのはいいと思うんですけど、これ記述式なるのですか。それとも、いろいろ項目がある中でポチポチと選ぶ感じなんですか。

○事務局

Googleフォームで作成する際に、基本的には選択肢から選ぶ形になります。こちら、資料7の後方に後ろのページのほうをめくっていただきますと、より文章でお示ししているものをつけさせていただきました。この中で、「一つまで」「二つまで」「当てはまるもの全て」というところの条件があるものにつきましては、そちらの個数を選べるように機能として設定をして、足りなければ足りないと警告というか、アラートが出る形を組んでおります。

記述のところにつきましては、その他を選ぶときには必ず記述をするようにという項目設定にしておりますので、その他だけを選んで終わるようなものではなくて、その他を選んだら、その内容をしっかりと書いて、次の項目に進むというような設定で現在想定しております。

以上です。

○会長

ありがとうございます。ほかいかがでしょうか。

○事務局

補足ですが、本日ご覧いただきましたアンケートは、先日お送りしたものに少々修

正を加えているところもございます。後ほどご覧いただきまして、もし気になる点等ございましたら、来週の月曜日頃までにご連絡いただけましたら、私のほうで修正させていただきます。よろしくお願いいたします。

○委員

すみません。中学生保護者アンケートほうで、1番の部活動に何を期待するかと2番が専門的な指導者から指導を受けさせたいと思うかの間に、現在の部活動では顧問から専門的な指導を受けていると思うかと入れたらどうかと思いました。

あと、もう一つは中学生保護者用のアンケートのところに、6番、学校にお支払いしている現在の部活動の費用は年間幾らですかの質問で、3万6,000円とか、1万円以上があるのですか、どこまで含むのかということです。

○委員

最低限の例えば大会参加費とかは何千円単位で、チームで大体5,000円とか6,000円かかるんですけど、そのほかでユニフォーム代とか。

○委員

そういうのも含んでいますよね。

○事務局

含みます。

○会長

合宿代とか。

○委員

合宿を実施しているところは実際少ないんですけど、やっぱり2着ユニフォームとか、あとシューズ、そのほか。

○委員

どこまで入るかということです。これだと部費みたいな印象を受けます。部活動として月々とか、年度の初めに部費として幾ら幾ら徴収してますよというイメージなので、もし例えばユニフォーム代とか、そういう活動をする上で必要なものも含むのだったら、それは括弧して何々も含むということが書いたほうがいいかなと思いました。

○事務局

承知しました。ありがとうございます。

○委員

その辺がちょっともしかするとアンケートでは読み取りづらいかもかもしれません、保護

者の方が。

例えば1年生のときに買ってもらって、2年生、3年生はもうユニフォームとか、ウォーミングアップウェアとか全部そろっているから、2年生のときには今、名取先生がおっしゃったように、部費の何千円しかかからないというケースもあるんですけど、1年生なり、そろえる時期にはちょっとかかっちゃうというのがあるので。

○事務局

ありがとうございます。そうでしたら、ユニフォームや大会参加費等の実費等を含むというような形で、記載をさせていただこうかなと思います。

○委員

もう一個よろしいでしょうか。中学校生徒用のアンケートのところです。

10番、表現がちょっと分かりづらいなと思いました。合同部活動や地域クラブ活動において、他校の生徒との活動にどのようなイメージがあるかというのはちょっとわかりづらいです。他校の生徒との活動についてどう思うかというほうがすっきりすると思います。

どのようなイメージがあるか。1番、やりたい部活なら他校の生徒と合同で活動してもよい。2番、やりたい部活ならどちらかという他校の生徒と合同で活動してもよい。3番、やりたい部活でも他校の生徒との合同部活動には不安がある。と変更してはいかがでしょうか。

○事務局

委員のおっしゃるとおりです。そちらのほうが分かりやすい表現になると思います。ありがとうございます。

○委員

もう一つよろしいでしょうか。中学校教員のアンケートです。12番。

兼職兼業制度なんですけど、報償費というのは大体幾らぐらいとか、示すことができたりしますか。

○事務局

金額についてはまだ検討しているところなので……。

○委員

結構、報償費によってなのかなと思ったんです、正直言って。

やりたい人はやりたい人で、今のままでも全然やりたいから要らないという人もいます。今でも4,500円でしたか1日当たり。活動が公式戦や校内練習によって違ったりしますが。報償費によってまたいろいろ違ってきたりする部分はあると思います。

○事務局

ご意見いただき、ありがとうございます。

他区等と比較をしながら、今後検討させていただければと思います。

○委員

分かりました。

あと、ごめんなさい、最後、「新たな部活動に」という表現があるんですけど、これは何かわかるように説明はするのでしょうか。

○事務局

そうですね、すみません。分かりづらくて申し訳ないです。

○委員

合同部活動や地域クラブ活動にというのは、保護者や生徒に説明を入れておかないと、わからないと思います。

○事務局

7ページへお進みいただきますと、実際の設問の形でこちら、明示させていただいております。

図表にて、部活動それぞれ合同部活動はこういうもので、地域クラブ活動はこういうものだというふうにお示しをさせていただいております。

○委員

新しい部活、括弧して、部活合同の活動や地域クラブ活動という説明をするということですか。

○事務局

そうですね。

○委員

合同部活動というのはどういうことなのか、地域クラブ活動がどういうものかというのは、これだごちゃごちゃして分からないですよ。

アンケートの最初に、合同部活動とは、地域クラブ活動とは、という説明があったほうがいいかなと思いました。

○事務局

ありがとうございます。ご意見を反映させていただきまして、修正をさせていただければと思います。

○会長

ご意見ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。
お願いします。

○委員

現在の子どもたちが、部活以外のいわゆる習い事ですとか、地域の部活とは全く関係ない何か、文化芸術活動やスポーツをどの程度やっているかというのは、何か別の資料でつかんでいるのでしょうか。

というのは、部活だけはどうかかなとちょっと思ったものですから、これは逆に先生方に聞いたほうがいいですか。その辺はどうですか、生徒たち。それとあと、部活とその自分がやっている習い事との関係とか、そっちがあるからもう部活はやらないとか、そういった選択は・・・。

○委員

部活以外に地域の習い事とかクラブ活動をやっている人がどれぐらいいるか。

○委員

それと、だから部活はやらないよとか、そのニーズの問題なんですけど。そこはアンケートを取る必要はないですか。

その辺があったほうが、もうちょっと立体的な考え方ができるかなとちょっと思ったんですけども。ただ、あんまり質問を作りたくないの。

○委員

確かに、学校の部活動には我が子はほかの習い事やっているの、もう今は一昔前みたいに入れようというご家庭も、今はそういう形で考えていらっしゃるご家庭も多いので、このアンケートも何か直接自分が該当するというご家庭ばかりではないかなということもちょっと言えるかもしれないですね。

○事務局

すみません。ちょっとご参考までに、令和4年5月に区のほうでアンケートしたものがございます。その中で、放課後どういうふうに過ごしているかというような質問で調査したことがございます。

ちょっとご紹介いたしますと、学校の部活動のみ所属している方が75%、4分の3。それから、学校の部活動と地域のクラブ活動、両方所属している方が約15%あります。それから、地域のクラブ等にのみ所属している方が2、3%と、そんなような状況。それから、どちらにも所属していない方、この方がこういった生徒は5%程度というような統計がこれは令和4年の5月の段階でございます。

ご参考までにご紹介させていただきました。

○委員

ありがとうございます。質問が増えるのと、ごちゃつくので、やっぱりやめたほうがいいかなと思いました。

ただ別の形で、どの程度習い事があったか、その辺はやはりつかんでおいたほうがいいかなと思っています。ありがとうございます。

○委員

会長、よろしいですか。

○会長

お願いします。

○委員

特に文化芸術に関わるもの、例えば日本舞踊だとか音楽に関するものというのは、学校の部活動とは別に習い事だったり、ほかの団体に所属してやっていたり、要は両立していらっしゃる方も多いというふうに考えますので、先ほど他委員がおっしゃられたような、ちょっと文化芸術活動はなかなか部活動というものよりも習っているみたいな感覚のほうが多い場合もあるので、少し盛り込むことができればというふうに私も感じましたので発言いたしました。

○会長

ありがとうございます。そうですね、音楽だとどうしても部活動でやろうとすると、吹奏楽とか合唱とか集団でやるようなものが中心になるなと思って、例えばピアノを習ってますとか、多分こういうところに入ってくると思います。

いかがでしょうか。

○委員

一つ。

○会長

どうぞ。

○委員

保護者用のところで、部活動に何を期待するかということが聞いたときに、上から読んでいったときに、一番下にいきなり地域クラブ活動に参加する際に年間費用はと、いきなりお金のことが出てきたときに、理解する人は理解できる保護者の方もいらっしやると思うんですけども、ここではっきり移管したときに、個別に費用は発生する、学校とは別にお金がかかるということを、ちゃんとずばり聞いたほうがいいんじゃないのかなという。

こちらの今の先ほどの資料からずっと読んでいけば、地域とかほかの企業か個人か

分かりませんが、そういうところに学校から離れたところに行ったときにはお金がかかるんですよというのは、何かどこかでこのアンケートのところで書くのか分かりませんが、そこはあったほうがいいのかという個人的な意見なんですけども。中には、今まで無料だったのに、何でここで急にお金がかかるんだという、北区は切り替えているのか。東京都から、文科省から来ているから、そういう考えで今動いてはいるんですけども、下の末端の保護者の方は生活で余裕のある方は何ていうことないんでしょうけども、年間3万円、4万円でも、そういうお稽古のためにお金をかけるというのは・・・でもないんでしょうけれども。それ以外の方もいらっしゃると思うので、はっきりとここなのかどこかで述べたらいいのではないのかなという、感じなんですけど。

○会長

ご意見ありがとうございます。

年間幾らまでならということ、もうお金かかりますよというのが、前提でばんと出ているので、面食らってしまう保護者の方もいるかもしれないですね。

○事務局

こちらのほうは、活動時にお金がかかる旨をご説明した上で、幾らまでというような形に修正させていただければと思います。

○会長

ご意見、ありがとうございます。ほかにいかがでしょうか。

(なし)

○会長

それでは、ほかに特にご意見ないようでしたら、本件は以上とさせていただきます。いただいたご意見につきましては十分に検討させていただきたいと思います。

なお、このアンケートにつきましては、7月末の回答期限としているため、会議後、速やかに児童・生徒、保護者、教員にお願いする予定でございます。そのため、最終的なアンケートの内容の作成につきましては、恐れ入りますけれども、正・副会長一任の取扱いということにご了承いただけないかと考えておりますが、皆さんいかがでしょうか。

(異議なし)

○会長

ありがとうございます。それでは修正意見の取扱いについてはそのようにさせていただきます。なお、確定後のアンケート内容については、アンケート実施前に皆様にお知らせしてまいります。

ほかにご意見がなければ、次に進ませていただきます。

最後に次第の7、その他報告事項です。事務局、何かございますでしょうか。

○事務局

次回の検討会議についてのご説明をさせていただきます。

本日ご提出いただきました日程調整表を基に、皆様の日程の中で一番ご都合が合う日を選ばせていただければと思っております。現在、まだご提出をいただけていない方や、今すぐご予約が分からない方については後日、私宛にメールでご都合、ご連絡いただけると幸いです。

また、先ほどのアンケートのお話で、ご意見等ございましたら月曜日くらいまでにご連絡いただければ、修正・反映できますので、何かありましたらメールでご連絡いただければと思います。

以上です。

○会長

ありがとうございました。皆様のご協力のおかげで進行が大変スピーディーに進みましましたので、大変恐れ入りますけれども、北区における今後の部活動の在り方、その他皆様からお一言ずつご意見を頂戴できればと思います。

○委員

ちょっと戻っちゃったらごめんなさい。

まず資料の資料5なんですけど、資料5の2番、持続可能な部活動の環境整備で地域連携とは。一つは、地域の人材を活用した部活動指導員、外部指導者の導入と、あと複数校で実施する部活動の導入、この複数校で実施する部活動の導入についても、部活動指導員とか外部指導員の方が中心になってやるということですか。

○事務局

そうです。

○委員

そうなるかと……。

○事務局

そうですというのは、まず方向性としては教員が担わないようにしたいなとは思っています。

○委員

教員の負担軽減で、土日は地域に戻すということで、地域の部活動指導員とか外部指導者をお願いする。

○事務局

そこは段階的にやっていきたいと思ってるんです。目指すところはそこなんですけど、まずは現状の活動があるので、その部活動の存続を考えながらやるんですけど、合わせ技ですね。教員の負担軽減がありますから、部活動指導員を配置する形で拡充はしていきたいと思ってるんです。

○委員

要は外部指導員という立場の人だと、教員は必ずつかなくちゃいけないんですよね。

○事務局

部活動指導員で行きたいと思います。

○委員

ということは、各学校が野球部、サッカー部、テニス部で部活動指導員を望むという場合には、それが配置できるような方向になるのでしょうか。

○事務局

というのは考えてるんですけど。

○委員

段階的にそっちを目指していくということによろしいでしょうか。

○事務局

レベルはちょっとご相談させていただきたいんですけども、何部活できるかというところは制限がかかってくるので、なるべく今よりも増やしていきたいなということは、まずは思っています。

○委員

ということは将来的に部活動指導員を増やしていくということですか。要は外部指導者だと単独では指導できないから、結局、土日の活動には教員がつく必要がでてくると思いました。

○事務局

そうですね。だから現状よりも若干ですけども増えていくようにはしていくので。

○委員

もう一つは、地域合同部活動の導入をしていく。

○事務局

そうです。ほぼ、同時に。

○委員

これが北区の今のところ目指していく方向性でよろしいですか。

○事務局

基本的には今話をさせてもらったとおりですけれども、あくまでも今の事務局としての考え方で、今回皆様と議論させていただく中で、例えばもっとこうしてもらいたい、ああしてもらいたいという話は出てくるかなと思っていました。それをいただきながら、今後、北区教育委員会として、例えば人材の工面がそこまでできるのかとか、あとは実際に予算を確保できるのかどうか、そういったリアルな課題も多分出てくると思います。

なので、今はこういう方向で行きたいという話をさせていただいたものだと思っていて、今後についてはこの計画をまとめていく過程の議論や、策定後の計画をベースにしながら、例えば、教育委員会としては予算要求をしていくことになると思っていますので、詳細のところについては今後議論しながら詰めさせていただければと。

○委員

また、アンケートの結果も踏まえながらというところもあるわけですね。

○事務局

おっしゃるとおりです。

○委員

分かりました。ありがとうございました。

○会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

○委員

今日もある先生から、生徒から来年先生は顧問やってくれるのですかという質問があったそうで、この話がどこかから聞こえてきている、何か生徒さんだったらしくて、それはまだ全然分からないよというところで、現場も今後どうなっていくのかなというのが見えてない部分があるので、参加させていただいているので、なるべく早急がいい形をつくりながら、この情報を先生方や、細かく理解していただくというところが費用の面もそうですし、大事ななと思いますので、ぜひ協力させていただければと思います。今後もよろしくお願いします。

○会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

○委員

体育協会は33の連盟があります。ほとんどのスポーツが入っているわけなので、その中、それぞれの連盟では北区全体の大会を開いたりというようなことでスポーツを進めているというのが現状です。

指導者はかなりの数がいるわけですが、うまくその方々と今回の学校側のニーズと合わせて、最終的に子どもたちが地域の中でよりよいスポーツ環境、体育なので文化はちょっと除きますけども、スポーツ環境を整えてあげられれば良いなと考えています。

そういった意味では、いろんな選択肢があっているのかなとも思っていますので、地域のそれぞれの個々の単体のクラブ活動、部活動とは違ったクラブ活動とか、それから連盟としての全体的な動きとか、そういったものとうまく調和ができるかなと考えてます。

特に、地域移行になった場合の担い手ですかね。各連盟の中で手を挙げてくれるところがあれば、可能性があれば、できるだけやってもらえれば良いなとは考えているわけです。その辺の条件とか、そういったものを今後少し内部的に調べてみたいなどは思っています。

聞くところによると一部の自治体では、もう地域を無視したというか、あまり地域を当てにせずに、人材派遣のようなどころにお願いしてしまって、指導者だけを集めて子どもたちを指導しているというやり方もあるやと聞いておりますが、それでいいのかどうかということも合わせて、この場で少し議論いただきたいなというふうに思っています。

ごめんなさい、質問になっちゃって申し訳ないのですが、地域移行の際の地域の活動というのは、委託と助成と二つの考え方があるかなと思っています。これ、要するに責任の所在ですね、最終的な。それはどこにあるのかということ、明確に教えていただければと思うのですけれども。要するに教育委員会なのか、それをやる団体といいますか、担う団体が責任を取るのか、そこら辺のところ。もし地域の団体がかなりの部分の責任を負うとしたら、その教育活動としての部活動とどういうふうにごを連携させるのか、その担保の仕方、この運営の仕方をちょっと自分にはイメージがつかなかったもので、教えていただければと思います。

○事務局

部活動でございますけれども、これは教育課程外の活動ではございますけれども、教育活動であることには間違いはないというところでございます。これは地域に移行という形で地域主体となったとしても、これは教育活動であることには変わらないということだと思います。

ただ一方で、合同部活動とは異なりまして、地域移行の部活動、これにつきましては、あくまでも地域の主体が責任を持って行うということになります。ですので、基本的には学校から切り離して、その地域の団体と、いろんな多様な主体が考えられますけれども、その団体等が責任を持って行うという立てつけになっているというところでございます。

ただ一方で、学校との連携、これは教育活動である限り、連携というところは、これはもう引き続きやっていくというところは必要になってくるところでございますので、そういった形でやり方、主体とは別々ですけれども、責任の所在というところも、これは別々になってくるというところが基本になっているというところでございます。

○会長

よろしいでしょうか。ありがとうございます。次の委員お願いします。

○委員

スポーツ推進委員の今の活動の中では、いろんな成人、働く世代の人たちにスポーツ実施率を上げようという活動がメインになりまして、それ以外に個別に王子地区では、王子の総合型スポーツクラブを作ろうというような今は動きをしています。赤羽にはレッドシャッフル、滝野川にはコミスポがあるんですけども、王子にはないということで、それを今は立ち上げようという段階なので、いつかはそこで地域の中学校の活動を目標に、もう少し後には考えてはいるんですけども。

今、その中で一番考えてるのは、さっき部長がおっしゃいました、人材とあと謝金のところですかね。なかなか人材が今は集まっていないで、いろんな種目についても、それぞれ資格持っている人は案外少ないんです。街中で上手にいろんな運動する人はいるんですけども、正式な資格を持っている人がいないがために、その人たちをどう誘い込んだり、取り組んだらいいのかなというのを今悩んでいるところです。

あともう一つは、スポーツ推進委員をやっていると同時に、板橋区の外部指導員もやっております、板橋区のほうからも外部指導、クラブ指導員、非常勤の話もあつたんですけども、やっぱりその中で今現在働いてるものですから、実際にのめり込んでもいいんですけど、やっぱり生活もありますし、そここのところを費用のところはもうちょっと解決するようになれば、やっぱり板橋区はそんなに費用は高くない金額をご提示されたんですけども、やっぱりその辺がクリアできれば、もっと北区でも外部指導の方が101名もいる中ですから、やっぱり外部指導者の人は技術的にいいものを持っている人が多いと思いますので、そういう方を取り込むために、やっぱりこの謝金のところを解決していけば、どんどん入ってくれるのかなというふうに私は個人的には感じております。

以上です。

○会長

ありがとうございました。次の委員お願いします。

○委員

本日はありがとうございます。

我々もサッカーのクラブというふうな形をやっていながら、総合型スポーツクラブとして今は17種目ぐらいですかね、競技を持っている中で、ホームタウンのエリアも含めて、多岐にわたって、こういった今ご相談というか、部活動の外部移行のどこ

ろで、ご質問とか問合せというのが多く来ております。

そういった中で、やはり今皆さんにお話しいただいた責任の所在の部分だったりだとか、あとは指導者の確保の問題だったりだとか、あと、費用の問題というふうなところは課題になっているところが多く、皆さん、各行政さんは悩んでいるというふうなところも伺っています。

そういった中で、我々が情報として今日もご参加させていただいていますけども、いろいろ他区とか他市の事例であったりとかで、ご協力できることだったりというようなことは、今日お話を聞いていてあるのではないかなというふうに思いました。

ちょっと、僕もまだまだ知識不足のところもあるので、社内のほうでいろいろな部署が関わっているところもありますので、またそういうところもちょっと社内で確認して、また次の会議等でもいろいろお話をできればなというふうに思っております。以上です。

○会長

ありがとうございます。次の委員をお願いします。

○委員

そうですね、私は今回の取組に関しては非常に費用、コストがかかる事業ではないかなというふうに感じております。単純に教員の方の部活動の負担を軽減することによって、現場というのでしょうか、教育の現場もそうですし、あるいは家庭の現場に対してどんな影響が出るといったギャップをやはりこの場でなるべく狭めていく、といったような議論がやはり一番、我々のほうで第一にやっていくところかなと考えております。

例えば、問題ということになると、競技力の問題もそうですし、あと、指導の一貫性というんでしょうかね、やはり指導者が入ることによって、ある一定の指導の方針、それが方向性がちょっとずれてしまっているとか、そこに子どもたちがついてるのかとか、そういったような状況の問題も起きるんじゃないかなというふうに想定をしております。

あとはご家庭に言いますと、経済負担がどの程度存在するかとか、そういったような様々な問題がいわゆる我々が取り組む、そのギャップをいかに埋めていくかと本当に真剣に考えなきゃいけないなと感じました。以上です。

○会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

○委員

取りあえず、ずっと演劇をやっています、地域で北区アクトステージ演劇部といって、それこそこの合同部活動みたいな形で毎週日曜日にやっています。それはもう北区の稲付の生徒も今来てますし、堀船だったり王子桜だったり、いろんな生徒が週1回集まって、僕とみんなと一緒に部活をやっています、今年で十数年やっていて、

やっぱりその地域で合同でやるというところの難しさだったり、いいところというのは、僕はそれなりにやってきたので、何かこの部活の合同の導入について、何か力になれるのかなと思ってはいるんですが。もう一つ文京区の音羽中学校の演劇部の外部指導員と、今は桜丘中学校の演劇部の外部指導員と、あと埼玉の川口北高校というところで外部指導もしてるんですけど、さっき言った費用の話なんですけども、やっぱり正直きついです。

僕はもともと俳優をやってまして、俳優と同時にその指導のほうで今やってるんですけど、やっぱり教えたけれど、やればやるほど生活費がやっぱりまもなくなくて、今年に入って三つ教えているんですけど、もちろん演技好きで教えるんですけど、やっぱり生活はどんどん苦しくなるばかりで。今回は部活動移行で文京区の先生に、そうなるんだったら僕らの手当が変わるのかなと思ったんですけど、そこは変わらないと言われて、いや、これ本当にきついなとか思って。つまりどっちか誰かがやっぱり負担してしまうのが、結局、指導員側になるのかなと思ってまして、もちろんお金が全てではないんですが、やっぱりやるには、特に演劇とか文化系というのは、なかなかちょっとそのお金という部分において、さっき言った免許もないので、その人の実績がどうかで判断するのは難しいですけど、結構文化系はその辺苦労するのかなと思ってまして。そこは何かどちらにも負担のないというか、ストレスのないようにできたらいいなというのと。

文京区のほうで、さっき言ったとおりいろいろ指導校は増えてきてるので、きついなと思ってやめようかなって先生に相談したときに、僕がやめた場合、文京区は今どんどん部活を減らす方向に入っているんで、多分、僕みたいな専門家が抜けたら代わりになる先生がいないので、演技部はなくなりますと言われてたんです。それほど何か危機的な状況なのかなと思って、なので辞めずに今も続けているんですけど、実際今行っている音羽中学校では柔道部があって武道場もあるんですけど、部員が少ないということで柔道部がなくなりました。やっぱり、そのスポーツの芸術文化もそうですけど、僕らの若いときは普通にできたし、選択肢はあったけど、今の子どもたちはどんどん減らされて、じゃあ、その子たちはどこに行くのかなと思うと、何かそれもやっぱりきついなと思うので、これからは僕の俳優ともう一個の活動は、地域で教育を支えたいというので、自分の団体を立ち上げたのはあるので、やっぱり地域でどうやって子どもたちのやりたいことをサポートできるかということが大事だなと思うので、この学校だけじゃなく、地域でもっとそういう子どもたちのやりたいこと、文化、芸術、スポーツ含めて、そういうスポットができる何か誰もが、夢ですけど誰もが損しない形が取ればなと思っていますので、皆さんに比べてちょっとなかなかはっきりしない職業の僕ですが、何かお力になればと思いますので、よろしく願いいたします。

○会長

ありがとうございます。次の委員をお願いします。

○委員

本当に先生方の忙しい公務の中で、子どもたちと接したり、話す機会がだんだん減っていったような状況を感じている中で、こうやって部活動の地域連携・移行にようやく本腰を入れて取りかかってきたというのはすごくいいことだと思っています。

ただ一方で、自分は中学校のPTA連合会として今回出てるんですけど、実はちょっと仕事関係でたくさんの部活動の先生方に携わる機会があるんですけども、やっぱりその中では一部中学校は部活があるから中学校の先生になったという方もいらっしゃいますし、やっぱり部活動に情熱を持って取り組んでくださっている先生もいっぱいいらっしゃるの、生徒たちにとっても一番先生との今コミュニケーションが取れるのは、実は部活動だったりすることもあるので、小さい意見かもしれないですけど、うまくそういったところもバランスを取りながら、今回の地域連携・地域移行に踏み込んでいってもらいたいなというふうに思っております。

以上です。

○会長

ありがとうございました。次の委員をお願いします。

○委員

今日は皆様の意見を聞いていて、なかなか学校の部活動の実態みたいなものはあまり認識していなかったのが非常に勉強になりました。

なお、文化振興財団では豊島五丁目団地のところにあります、文化活動拠点として、ココキタというところで児童・生徒さんに向けて、子ども文化教室ですとか、そういった場所も貸し出ししながら、なかなか文化芸術というのが大人数で取り組めるものとそうでないものが様々ある中で、どういうふうに財団としての支援ができるのかなというふうに今、思っているところです。

今日配られた文化系部活の一覧を見ても、スポーツ系の倍の種類の文化系の部活ありますけれども、少人数でばらけているのか、これが地域連携・地域移行に移ったときに、お子さんたちがやりたかった文化活動が合同になることでやることができるみたいな、そういう機会が公平にというか、失われないで継続的にできて、そしてそれが将来のというか、文化に触れる機会を増やしていけるような、この今回の取り組みになればいいのかなというふうに個人的には思っております。

どういうふうに意見が出せていけるか分からないんですけども、今回のアンケート結果もちょっと楽しみなところかなと思っております。

以上でございます。

○会長

ありがとうございました。

それでは最後に副会長、お願いします。

○副会長

部活動の外部委託ということ自体が学校の先生たちの負担軽減なのか、子どもたちのスポーツの環境づくりなのか、それとも部活動、いわゆる中体連という仕組みの継続なのかというところが、どれも生かすというのはなかなか難しいんじゃないのかなと思います。そもそも、言ってしまえば、学校の先生のボランティアなり、犠牲の下に成り立ってきた活動という前提を考えれば、その状況を外部委託したところで、全てがうまくいくという方向はなかなか難しいというのが僕の個人的な感覚であります。

現実的に部活動の外部委託は十数年も前から、例えば大阪市だったりとか、杉並区がやっていますけど、それはある種、目玉的に大きな予算がついた何年間かだけで、その後どうなってるかというところ、なかなか成功事例が出ていないというのが現状で、これは多分東京23区もそうですし、多摩を含めてもそうですし、47都道府県全ての市町村によって、住んでいる人も違えば、状況も違えば、経済的な余裕も違えばということ考えたときに、東京都がこうするとか、他の区がどうする、他の都道府県がどうするからこうするということではなくて、この北区の現状の中で何ができるかということをもっと考えていかないといけないのかなと思っています。47都道府県もしくは23区、多摩市を含めた三十数市、いろんなやり方があっていいと僕は思っていますので、隣がどうしているとか、東京都がどうしている、国がどうしているということではなくて、北区の中で何ができるか、北区の持っているリソースの中で何ができるかということをもっと最大限、皆さんのご意見をいただきながら、一つの北区方式みたいなものをつくっていくというぐらいの感覚ではないと、会議体は4回しかありませんし、何となく鉛筆をなめたものしかできないのかなという気がしております。

あともう一つが、主体がどこなのかということ、ある程度はつきりさせたほうがいいのかなと思います。これが区なのか、教育委員会なのか、それとも他の仕組みなんかを見てみると、その中間支援組織みたいなものをつくって、それが民間非営利的なもので、実はそっちのほうが動きやすいということもあつたりするので、そんなことも、この一、二年を含めた将来予測の中で、ずっと教育委員会が区が予算をとり続けてやっているというわけにもいかないと思いますので、そういった自走できるような仕組みづくりというのが必要なのかなと思っています。

最後に僕の専門分野でもあるんですけど、正直お金がないとうまくいかないと思います。これは区が予算を取るのか、教育委員会で予算を取るのか、それか外部から持ってくるのかも含めて、別に悪い意味じゃないですけど、払うものを払わないと誰も幸せにならないというのが現状だと思いますので、先ほど先生や指導員の方からありましたけど、やりたいけどできない事情は当然ある、ボランティアも含めて。ただ、そこをある程度埋めるためには、しっかりとした予算、払い過ぎるというわけではないんですけど、しっかりとしたものに対する報酬の対価を支払わないと、それが結局は質の低下になって、最終的に不利益を被るのが子どもたち、学校ということに当然なってきますので、そういった部分での外からお金を引っ張ってくるような、もしくは予算を取るなりという、お金のところも含めた具体的な案を、今後含めて考えていければいいのかなというふうに思います。

以上です。

○会長

ありがとうございました。

以上をもちまして、本日の予定の議題は全て終了いたしました。全体を通して何かございますでしょうか。

(なし)

○会長

ないようでしたら、第1回検討会議は以上で閉会とさせていただきます。本日はお忙しい中、ありがとうございました。